

MASK MEGA ART STORAGE KITAKAGAYA OPEN STORAGE 2026

〔MASK 一般公開〕

10.30金-11.29日 金土日祝のみ 計17日 12:00-18:00

会場 | MASK [MEGA ART STORAGE KITAKAGAYA] 入場料 | 無料

参加作家 | 名和晃平、宇治野宗輝、金氏徹平、久保田弘成、持田敦子、やなぎみわ、ヤノベケンジ



 おおさか創造千島財団

TEL: 06-6681-7806 (平日9:30-17:30)
Email: mask@chishima-foundation.com
<https://mask.chishima-foundation.com>



主催 | 一般財団法人 おおさか創造千島財団 共催 | 千島土地株式会社 特別協力 | Sandwich Inc.
広報協力 | ANOMALY、一般財団法人ヤノベケンジ財団、京都芸術大学ULTRA FACTORY、
一般社団法人MIWA YANAGI OFFICE、Sandwich Inc. 他
宿泊協力 | HOTEL ANTEROOM KYOTO (ホテル アンテルーム 京都)

ダミアン・ジャレ × 名和晃平

Prism

〔パフォーマンス公演〕

11.27金 19:00- 11.28土 15:00-/17:00-/19:00-
全4公演、上演時間40分

会場 | クリエイティブセンター大阪 [名村造船所大阪工場跡地]

チケット | 〈前売券〉一般5,000円、ユース(25歳以下)3,000円
〈当日券〉一般5,500円、ユース(25歳以下)3,500円

OPEN STORAGE

2026

名和晃平 宇治野宗輝 金氏徹平
久保田弘成 持田敦子
やなぎみわ ヤノベケンジ

芸術の超越力の試行 第五章

ニューマテリアリズム 新物質主義の旗手による 実証実験

名和晃平は、従来の「人間が主、物質が従」という二元論を覆し、セル(細胞・粒)という概念を軸に、ガラスビーズ、プリズム、発泡ポリウレタン、シリコーンオイルといった多様な現代素材の「物性」を徹底的に探求し、物質や非人間(環境、技術、動植物など)が持つ能動的な作用と可能性を追求し続けている。そうした思想を拡張させ、人間の身体をも物質として捉え直す、振付家ダミアン・ジャレとの初の革新的なコラボレーション作品《VESSEL》の試演が、2015年、北加賀屋で披露された。10年余の時を経て、造船所跡地という物質文明の遺構に、新物質主義の旗手による新たな実証実験のプリズムが放たれ、私たち人間が普段見ている世界の認知や知覚のあり方を揺るがす。

木ノ下智恵子
MASKキュレーター



撮影:守屋友樹

久保田弘成

《大阪廻船》

2013 400×380×550cm



撮影:仲川あい

持田敦子

《拓く》

2021 270×500×540cm



撮影:守屋友樹

やなぎみわ

《ステージトレーラー「花鳥虹」》

2014 1,021×652×1,129cm(展開時)



撮影:仲川あい

ヤノベケンジ

《ラッキードラゴン》2009 1,000×450×1,530cm

《ウルトラ-黒い太陽》2009 660×1200×1200cm

《サン・チャイルド》2011 620×444×263cm ほか

約1,000㎡・高さ9mの鋼材加工工場・倉庫跡地を活用し、国際的に活躍する現代美術作家の大型作品を保管・展示する「MASK [MEGA ART STORAGE KITAKAGAYA)」。

本年はメインアーティストに彫刻家・名和晃平を迎え、MASK収蔵作品の一般公開に加え、振付家のダミアン・ジャレとのパフォーマンス作品《Prism》を、クリエイティブセンター大阪にて発表します。

ダミアン・ジャレと名和晃平は、10年以上にわたりコラボレーションを続け、身体と彫刻をめぐるパフォーマンス作品を発表してきました。公演会場となるクリエイティブセンター大阪は、初の協働作品《VESSEL》(2016年初演)の集中制作を行った、二人の創作にゆかりの深い場所です。

またMASKでは、過去のパフォーマンス映像も展示。名和晃平とダミアン・ジャレによる創作の軌跡を、パフォーマンスと映像の両面から紹介します。

また、ヤノベケンジが、大阪中之島美術館「驚異の部屋の私たち、消滅せよ。―森村泰昌・ヤノベケンジ・やなぎみわ―」で発表したインスタレーションをMASKで再構成します。

会期	2026年10月30日(金)~11月29日(日) 金土日祝のみ(計17日間)
時間	12:00~18:00
会場	MASK [MEGA ART STORAGE KITAKAGAYA]
入場料	無料
メインアーティスト	名和晃平
参加作家(50音順)	宇治野宗輝、金氏徹平、久保田弘成、持田敦子、やなぎみわ、ヤノベケンジ
キュレーター	木ノ下智恵子

参加作家・収蔵展示作品一覧



撮影:仲川あい

名和晃平

《N響スベクトル・コンサート

「Tale of the Phoenix」舞台セット》

2015 Dimensions Variable



撮影:仲川あい

宇治野宗輝

《THE BALLAD OF EXTENDED

BACKYARD, THE HOUSE》

2015 400×800×700cm(展開時)

建築設計|dot architects、片岡慎策

※2015年10月、MASKにて滞在制作



撮影:仲川あい

金氏徹平

《White Discharge(公園)》

2017 Dimensions Variable

※2017年1月、MASKにて滞制作

《tower (THEATER) 舞台セット》

2017 600×300×300cm ほか

ダミアン・ジャレ×名和晃平 Prism

《Prism》は、10年以上にわたって協働を続けてきた振付家・ダミアン・ジャレと彫刻家・名和晃平による、実験的なパフォーマンス作品です。

本作は、名和の代表作《PixCell》から展開された彫刻作品《Prism》を起点としており、繰り広げられる身体の動きを通じて、現実と仮想の境界が探索されます。視点にともなつて箱の中の身体は絶えず屈折・変容し、そのめくるめく体験は、鑑賞者の知覚を物質とイメージの境界の向こうへとひらいていきます。

私たちの感覚の外側には一体、何が存在しているのか。生きた彫刻として立ち現れる《Prism》は、二人のアーティストが追求してきた身体と素材／動きと彫刻の関係を体感するための、新たな入口となるでしょう。

ダミアン・ジャレ

フランス／ベルギー出身の振付家、視覚芸術家。ダンスを芸術表現として絶えず更新し続け、視覚芸術、音楽、映画、演劇、ファッションなど、幅広い分野を横断して活動している。これまでに、シディ・ラルビ・シェルカワイ、マリーナ・アブラモヴィッチ、名和晃平、ポール・トーマス・アンダーソン、トム・ヨーク、坂本龍一、マドンナ、JR、ジャック・オーディアール、グザヴィエ・ドラン、ロマン・ガヴラスをはじめ、さまざまな分野のアーティストとコラボレーションを展開。また、Les Ballets C de la B、Eastman、パリ・オペラ座バレエ団、ヨーテポリ・オペラ・ダンスカンパニー、Nagelhus Schia Productionsなど、世界各地のカンパニーのために作品を創作している。映画では、ルカ・グアダニーノ監督による『サスベリア』(2018年)や、ジャック・オーディアール監督による『エミリア・ペレス』(2024年)の振付を手がけ、注目を集めた。2026年には、FKA twigsの「Body High Tour」の一部で振付・演出を担当。また同年、ロマン・ガヴラス監督によるGENER8IONの楽曲「Storm」(Yung Lean参加)のミュージックビデオで振付を手がけた。さらに、マドンナのアルバム『Confessions II』のリリースに合わせて制作された10分間の短編映像作品では、複数のシーンの振付を担当した。これら直近の2つのコラボレーションにより、2026年MTVビデオ・ミュージック・アワードの最優秀振付賞に2件ノミネートされた。2022年、芸術文化勲章オフィシエを受章。

名和晃平

彫刻家／Sandwich Inc.代表／京都芸術大学教授 1975年生まれ。京都を拠点に活動。2003年京都市立芸術大学大学院美術研究科博士課程彫刻専攻修了。感覚に接続するインターフェイスとして、彫刻の「表皮」に着目し、セル(細胞・粒)という概念を機軸として彫刻の定義を柔軟に解釈し、鑑賞者に素材の物性がひらかれてくるような知覚体験を生み出してきた。近年では、建築やパフォーマンスのプロジェクトも手がける。2018年にフランス・ルーヴル美術館にて彫刻作品《Throne》を特別展示。2023年、フランス・セヌ川のセガン島に高さ25mの屋外彫刻作品《Ether (Equality)》を恒久設置。近年の個展として、「Sentient」(SCAI THE BATHHOUSE、東京、2025)、「Photon Camp」(Pace Gallery、ロサンゼルス、2026)がある。



Photo: Tarek Mawad



Photo: Michael Somoroff

日程 2026年11月27日(金)19:00~ 11月28日(土)15:00~/17:00~/19:00~(全4公演、上演時間40分)

会場 クリエイティブセンター大阪 [名村造船所大阪工場跡地]

定員 各回100名 ※本公演は、座席がなく、立ち見で鑑賞するインスタレーション形式のパフォーマンス公演です。

チケット 〈前売券〉一般5,000円、ユース(25歳以下)3,000円

〈当日券〉一般5,500円、ユース(25歳以下)3,500円

※前売券が完売した場合は、当日券の販売はありません

※ユースチケットは、公演当日、受付にて年齢が確認できる証明書(学生証、免許証等)をご提示ください。

振付・コンセプト:ダミアン・ジャレ／舞台美術・コンセプト:名和晃平／音楽:原摩利彦／照明:吉本有輝子／衣装:スルリ・レヒト／音響エンジニア:中原崇／ダンサー:エミリオス・アラボグル、牧野李砂、伊藤壮太郎、湯浅永麻／衣装製作:ネザーランド・ダンス・シアター (NDT) 衣装アトリエ ※衣装は「Mist」のために製作されたものです。本公演は、Sandwich Inc.とGS Cultural Foundationが製作・主催し、2026年6月に韓国・ソウルのGS Arts Centerで発表した《Prism》のショーケースをもとに創作されたものです。

TICKET
RESERVATION

チケット予約

各プログラムへの申込方法 →
Peatixからお申込みください



関連プログラム1 ヤノベケンジ 怒涛の自作語り vol.2

2026年8月豊田市美術館にて開催された、初期作から近作までの作品にまつわる多層的な物語や制作秘話を自ら語るトークイベント「ヤノベケンジ-怒涛の自作語り」。《SHIP'S CAT》を中心に、その続編をMASKで開催します。終了後はサイン会を実施します。

日程 | 10月31日(土) トーク | 13:00~15:00

サイン会 | 15:00~18:00 会場 | MASK

参加費 | 前売券800円、当日券1,000円

※前売券が完売した場合は、当日券の販売はありません

定員 | 150名

関連プログラム2 対話型作品鑑賞プログラム

「アートへのヒミツ基地?!みんなで探検ツアー」

初心者でも安心!作品に対する素朴な疑問や発見など、参加者みなさんでおしゃべりしながら収蔵作品を楽しむ「ツアー」です。アートとの新しい出会いを体験してみませんか? どなたでもご参加いただけます。

日程 | 11月21日(土)

対象 | 13:00 小学生向け 15:00 中学生・大人向け

※各回50分程度 ※13:00の回は要保護者同伴。本プログラムには子どもたちご本人のみご参加いただけます。ツアー実施中、保護者の方はMASK内を自由にご見学いただけます。

会場 | MASK 参加費 | 無料 ※要予約

監修 | 京都芸術大学 アート・コミュニケーション研究センター

関連情報 拡大版! KITAKAGAYA MUSEUM SHOP

MASKから徒歩2分の複合施設「SMASELL Sustainable Commune」内にある、北加賀屋ゆかりのアーティストグッズを取り扱う「KITAKAGAYA MUSEUM SHOP」が、本展に合わせて規模を拡大!ヤノベケンジグッズをはじめ、多彩なアーティストグッズを販売します。また、ヤノベケンジによる《SHIP'S CAT (Flying)》も、SMASELL内に特別展示します。

日程 | 10月30日(金)~11月29日(日)

金土日祝のみ(計17日間)

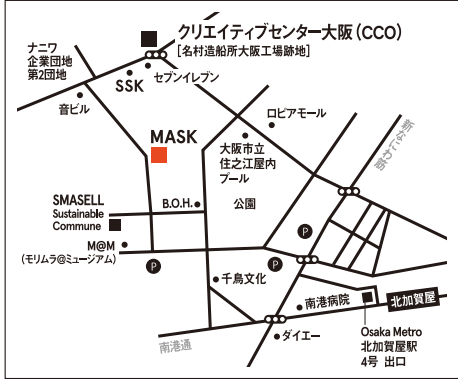
時間 | 11:00~18:00

場所 | SMASELL Sustainable Commune

入場料 | 無料



《SHIP'S CAT (Flying)》



Osaka Metro四つ橋線「北加賀屋」駅4号出口より各会場徒歩約10分

※MASKからクリエイティブセンター大阪は徒歩5分※JR新大阪方面からは、Osaka Metro 御堂筋線「大国町」駅で四つ橋線に乗換※阪神高速堺線「玉出」出口より車で約5分／近隣にコインパーキングあり